

国内四半期自転車生産・輸出入状況 (2020年10～12月)

はじめに

本稿は、我が国の自転車生産・輸出入の変化の模様を的確に把握するため、四半期毎の動きに焦点を当て、特に対前年同期との比較を主体として調査を行ったものである。但し、前年同期との比較を主体とするとはいうものの、自転車販売には季節性がある事も考慮する必要がある。

2020年10～12月期の我が国の自転車生産状況は、総生産台数は前年同期に比べ減少したものの、総生産平均単価・総生産金額は前年同期を上回った。また2020年10～12月期の我が国の自転車輸入状況について、「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の輸入は、総輸入台数・総輸入金額が前年同期比増加、総輸入平均単価は前年同期比下落という状況が示されている。

1. 我が国の自転車生産

1-1 総合的生産状況

経済産業省生産動態統計調査によると、2020年10～12月期の我が国の完成自転車総生産台数は240,374台であり、前年同期と比較すると5.1%減少した。この2020年10～12月期の240,374台という数値は、対象8四半期の中では3番目に多い数値であり、比較対象となる2019年10～12月の253,272台という数値は対象8四半期の中で2番目に多い数値である。これらの模様を、過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-1及び表1-1-2に示す。

表1-1-1 我が国自転車総生産台数の動向

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 総生産台数(台) | 229,180 | 205,117 | 193,732 | 240,374 |
| 前年同四半期 | 2019年1～3月 | 2019年4～6月 | 2019年7～9月 | 2019年10～12月 |
| 総生産台数(台) | 256,111 | 195,377 | 179,318 | 253,272 |

出典：経済産業省生産動態統計調査(2019年数値は確定値 2020年数値は原稿執筆時点のもの)

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 以下、生産統計数値は全て同様。

表1-1-2 我が国自転車総生産台数の前年同期比

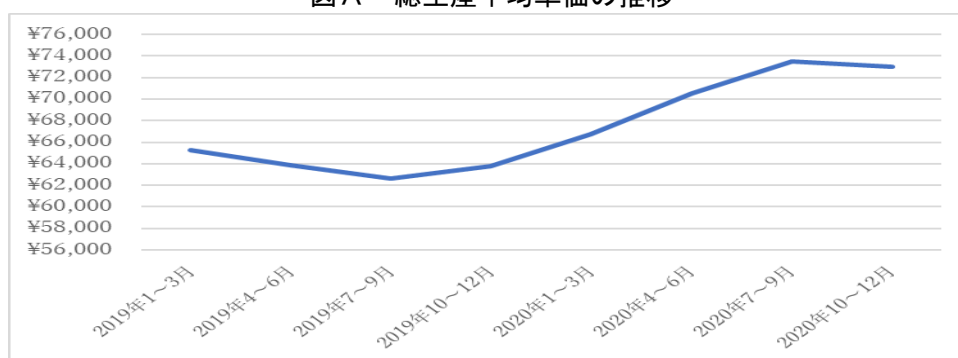
| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(台) | -26,931 | 9,740 | 14,414 | -12,898 |
| 前年同期比(%) | -10.5 | 5.0 | 8.0 | -5.1 |

四半期毎総生産台数は前年同期と比較すると前四半期及び前々四半期は増加していたが、今四半期は減少に転じている。当協会が実施している自転車国内販売動向調査によると、2020年2月月報には新型コロナウイルスの影響で来店客数が減り春需が感じられないという小売店主の声が紹介されていた。4月の同月報を見ると緊急事態宣言発令による外出自粛のため販売がふるわなかったほか、学校休業で通学車が売れなかったといった指摘があった

が、5 月月報には学校再開・特別定額給付金・公共交通機関利用忌避などから自転車販売が好調になった模様が記されている。6 月月報を見ると、引き続き特別定額給付金の効果及びキャッシュレスポイント還元最終月という事でスポーツ車や電動アシスト車の販売が好調で自転車通勤も増加した模様が、そして7 月月報にはこれらの動きがやや一段落した様子が、更に8 月月報を見ると新型コロナウイルスの影響でサイクリングイベントの中止が相次ぎ販売に影響が出た模様などが示されている。更に9 月及び10 月月報にはスポーツ車と電動アシスト車の販売が比較的好調である模様が、11 月になると季節的な要因に加え新型コロナウイルス感染症の影響で商店街の人通りが減ってしまい売上が減少してしまった一方で、店によっては引き続きスポーツ車や電動アシスト車が好調であるほか、来春の通学者需要を取り込むことのできた店の様子も紹介されている。こうした様々な要因が国内の自転車市場に影響しているものと思われる。

続いて総生産平均単価を見る。対象としている2019年1～3月期から2020年10～12月期までの8四半期の総生産平均単価の推移を図Aに示す。

図A 総生産平均単価の推移



総生産平均単価は2019年7～9月期を底として、それ以降前四半期まで勢いを伴って上昇していたが、今四半期は前四半期から僅かに下落した事がわかる。

次に総生産平均単価の動向を過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-3及び表1-1-4に示す。2020年10～12月期の完成自転車生産平均単価は73,029円となっており、対象8四半期の中では前四半期に次ぎ2番目に高い数値である。前年同期と比較した総生産平均単価は継続的に上昇している事もわかる。

表1-1-3 我が国自転車総生産平均単価の動向

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 平均単価(円) | 66,765 | 70,541 | 73,520 | 73,029 |
| 前年同四半期 | 2019年1～3月 | 2019年4～6月 | 2019年7～9月 | 2019年10～12月 |
| 平均単価(円) | 65,266 | 63,866 | 62,619 | 63,769 |

表1-1-4 我が国自転車総生産平均単価の前年同期比

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(円) | 1,499 | 6,675 | 10,901 | 9,259 |
| 前年同期比% | 2.3 | 10.5 | 17.4 | 14.5 |

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。以下同様。

更に総生産金額について見てみると、2020年10～12月の完成自転車総生産金額は175億5,416万2千円で、前年同期と比較すると8.7%増加し、対象8四半期の中では最高と

なっている。これらの模様をやはり過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-5及び表1-1-6に示す。

表1-1-5 我が国自転車総生産金額の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|-----------|------------|------------|------------|-------------|
| 総生産金額(千円) | 15,301,143 | 14,469,152 | 14,243,263 | 17,554,162 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 総生産金額(千円) | 16,715,347 | 12,478,014 | 11,228,708 | 16,151,026 |

表1-1-6 我が国自転車総生産金額の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------|------------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(千円) | -1,414,204 | 1,991,138 | 3,014,555 | 1,403,136 |
| 前年同期比% | -8.5 | 16.0 | 26.8 | 8.7 |

1-2 車種別生産状況

以下に車種別の生産状況を見ていくが、経済産業省生産動態統計調査における自転車の車種区分は、「軽快車」「電動アシスト車」「その他」の三つである。

1-2-1 「軽快車」の生産状況

まず、「軽快車」の生産状況を以下に示す。2020年10~12月期の生産台数は52,840台で前年同期に比べ28.9%と大きく減少したことがわかる。対前年同期との比較を見ると、継続的な減少が続いており、更にその減少幅も拡大傾向にあることがわかる。また、この車種の生産は秋から冬にかけて盛んで、春から夏にかけて低調であることもわかる。

表1-2-1-1 「軽快車」の生産台数の動向

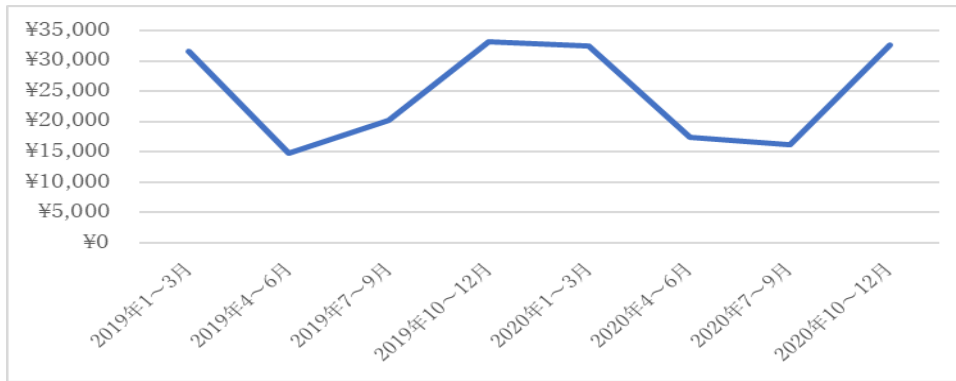
| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 生産台数(台) | 76,380 | 32,119 | 29,418 | 52,840 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 生産台数(台) | 78,625 | 35,450 | 38,362 | 74,306 |

表1-2-1-2 「軽快車」の生産台数の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(台) | -2,245 | -3,331 | -8,944 | -21,466 |
| 前年同期比% | -2.9 | -9.4 | -23.3 | -28.9 |

続いて「軽快車」の生産平均単価を見る。対象としている2019年1~3月期から2020年10~12月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Bに示す。季節性が大変強く表れており、「軽快車」の生産は、秋から冬にかけて比較的高価なものを生産し、春から夏にかけては比較的安価なものを生産するという特徴がよくわかる。

図B 「軽快車」の生産平均単価の推移



次に「軽快車」の生産平均単価の動向を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-1-3及び表1-2-1-4に示す。2020年10~12月期の「軽快車」の生産平均単価は32,645円となっており、前年同期の33,138円から1.5%下落した事がわかる。前年同期と比較した生産平均単価は、前々四半期はかなり大幅な上昇、前四半期はかなり大幅な下落を示しており、変化が比較的激しい。また後述する「軽快車」の輸入平均CIF単価と比べると、2020年10~12月期の生産平均単価は3.2倍弱となっている。この「軽快車」の生産平均単価と輸入平均CIF単価の差異は、2020年7~9月期は1.8倍強、2020年4~6月期は2.1倍弱、2020年1~3月期は3.2倍弱、2019年10~12月期が3.3倍弱、2019年7~9月期が2.4倍弱であり、秋から冬のほうがその差が大きくなっている。生産平均単価の季節変動は輸入平均単価の季節変動よりも大きいとも言える。

表1-2-1-3 「軽快車」の生産平均単価の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 平均単価(円) | 32,465 | 17,425 | 16,111 | 32,645 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 平均単価(円) | 31,656 | 14,755 | 20,195 | 33,138 |

表1-2-1-4 「軽快車」の生産平均単価の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(円) | 809 | 2,670 | -4,083 | -493 |
| 前年同期比% | 2.6 | 18.1 | -20.2 | -1.5 |

更に生産金額について見てみると、2020年10~12月期の「軽快車」の生産金額は17億2,494万2千円で前年同期と比較すると29.9%も減少した事が示されている。前四半期にも38.8%下落していたので、2四半期続けて下落幅が際立って大きくなっている。

表1-2-1-5 「軽快車」の生産金額の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 生産金額(千円) | 2,479,644 | 559,661 | 473,962 | 1,724,942 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 生産金額(千円) | 2,488,955 | 523,065 | 774,710 | 2,462,332 |

表1-2-1-6 「軽快車」の生産金額の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(千円) | -9,311 | 36,596 | -300,748 | -737,390 |
| 前年同期比% | -0.4 | 7.0 | -38.8 | -29.9 |

1-2-2 「電動アシスト車」の生産状況

「電動アシスト車」の生産状況を以下に示す。まず生産台数は、2020年10～12月期には前年同期比8.3%増加したことがわかる。前年同期と比較した生産台数はここ3四半期連続で増加を示している。尚、2020年10～12月期の170,569台という生産台数は対象8四半期の中では最高である。

表1-2-2-1 「電動アシスト車」の生産台数の動向

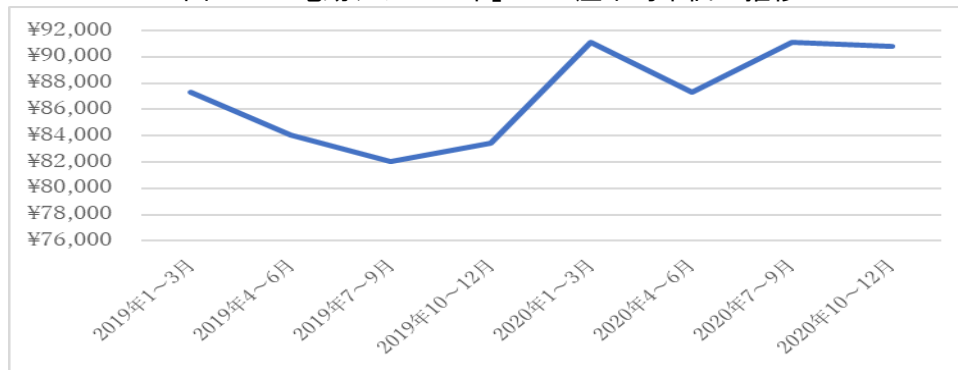
| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 生産台数(台) | 136,752 | 154,896 | 147,213 | 170,569 |
| 前年同四半期 | 2019年1～3月 | 2019年4～6月 | 2019年7～9月 | 2019年10～12月 |
| 生産台数(台) | 158,319 | 136,258 | 122,408 | 157,552 |

表1-2-2-2 「電動アシスト車」の生産台数の前年同期比

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(台) | -21,567 | 18,638 | 24,805 | 13,017 |
| 前年同期比% | -13.6 | 13.7 | 20.3 | 8.3 |

続いて「電動アシスト車」の生産平均単価を見る。対象としている2019年1～3月期から2020年10～12月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Cに示す。当初下落が続いていたものが2019年7～9月期に底を打ち、その後変動を伴いながらも概ね上昇傾向にあると言える状態にあることが示されている。

図C 「電動アシスト車」の生産平均単価の推移



次に「電動アシスト車」の生産平均単価の動向を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-2-3及び表1-2-2-4に示す。2020年10～12月期の「電動アシスト車」の生産平均単価は90,813円となっており、前年同期の83,414円から8.9%上昇した事がわかる。前年同期と比較した生産平均単価は上昇が続いている。

表1-2-2-3 「電動アシスト車」の生産平均単価の動向

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 平均単価(円) | 91,090 | 87,332 | 91,072 | 90,813 |
| 前年同四半期 | 2019年1～3月 | 2019年4～6月 | 2019年7～9月 | 2019年10～12月 |
| 平均単価(円) | 87,324 | 84,083 | 82,032 | 83,414 |

表1-2-2-4 「電動アシスト車」の生産平均単価の前年同期比

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(円) | 3,767 | 3,249 | 9,040 | 7,400 |
| 前年同期比% | 4.3 | 3.9 | 11.0 | 8.9 |

更に生産金額について見てみると、2020年10～12月の「電動アシスト車」の生産金額は154億8,989万円で、前年同期と比較すると17.9%増加した事が示されている。前年同期と比較した「電動アシスト車」の生産金額は3四半期連続で増加している。

表1-2-2-5 「電動アシスト車」の生産金額の動向

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|----------|------------|------------|------------|-------------|
| 生産金額(千円) | 12,456,806 | 13,527,432 | 13,406,968 | 15,489,890 |
| 前年同四半期 | 2019年1～3月 | 2019年4～6月 | 2019年7～9月 | 2019年10～12月 |
| 生産金額(千円) | 13,824,976 | 11,456,966 | 10,041,356 | 13,141,968 |

表1-2-2-6 「電動アシスト車」の生産金額の前年同期比

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|---------|------------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(千円) | -1,368,170 | 2,070,466 | 3,365,612 | 2,347,922 |
| 前年同期比% | -9.9 | 18.1 | 33.5 | 17.9 |

1-2-3 「その他」の生産状況

「その他」の生産状況を以下に示す。まず2020年10～12月期の生産台数は、16,965台で前年同期比20.8%減少した。前年同期と比較した「その他」の生産台数は減少が続いている。

表1-2-3-1 「その他」の生産台数の動向

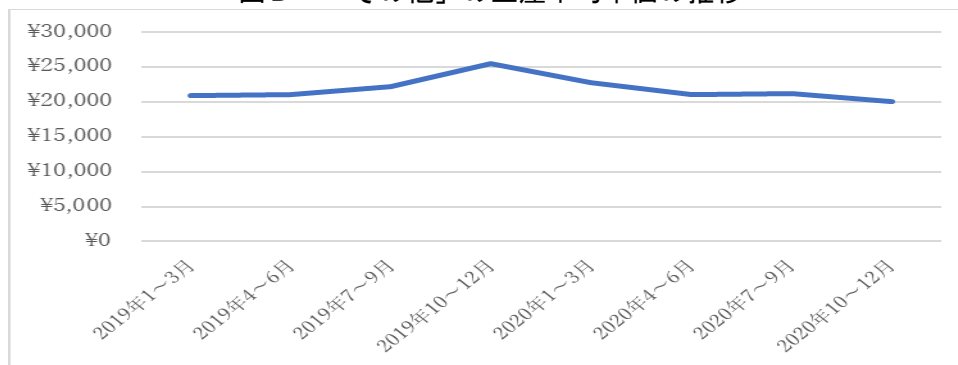
| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2019年10～12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 生産台数(台) | 16,048 | 18,102 | 17,101 | 16,965 |
| 前年同四半期 | 2019年1～3月 | 2019年4～6月 | 2019年7～9月 | 2019年10～12月 |
| 生産台数(台) | 19,167 | 23,669 | 18,548 | 21,414 |

表1-2-3-2 「その他」の生産台数の前年同期比

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(台) | -3,119 | -5,567 | -1,447 | -4,449 |
| 前年同期比% | -16.3 | -23.5 | -7.8 | -20.8 |

続いて「その他」の生産平均単価を見る。対象としている2019年1～3月期から2020年10～12月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Dに示す。「軽快車」や「電動アシスト車」に比べ安定しているように見える。

図D 「その他」の生産平均単価の推移



次に「その他」の生産平均単価の動向を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-3-3及び表1-2-3-4に示す。2020年10～12月期の「その他」の生産平均単価は20,002円となっており、前年同期と比較し21.7%と大きく下落した。前年同期と比較した生産平

均単価は前々四半期前までは上昇していたが、その上昇の程度は縮小し前四半期から下落に転じ、今四半期は更にその下落幅が拡大している。

表 1-2-3-3 「その他」の生産平均単価の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 平均単価(円) | 22,725 | 21,106 | 21,188 | 20,002 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 平均単価(円) | 20,943 | 21,039 | 22,247 | 25,531 |

表 1-2-3-4 「その他」の生産平均単価の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(円) | 1,782 | 66 | -1,059 | -5,529 |
| 前年同期比% | 8.5 | 0.3 | -4.8 | -21.7 |

更に生産金額について見てみると、2020年10~12月期の「その他」の生産金額は3億3,933万円で、前年同期比37.9%とやはり大きく減少した。前年同期と比較した「その他」の生産金額は減少が続いている。

表 1-2-3-5 「その他」の生産金額の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 生産金額(千円) | 364,693 | 382,059 | 362,333 | 339,330 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 生産金額(千円) | 401,416 | 497,983 | 412,642 | 546,726 |

表 1-2-3-6 「その他」の生産金額の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(千円) | -36,723 | -115,924 | -50,309 | -207,396 |
| 前年同期比% | -9.1 | -23.3 | -12.2 | -37.9 |

2. 我が国の自転車輸入

2-1 総合的輸入状況

まず、「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入台数について示す。2020年10~12月期の総輸入台数は、表2-1-1に示す通り1,601,144台であった。前年同期と比較すると、表2-1-2に示す通り15.0%増加した。前年同期と比較した輸入台数は3四半期連続で増加している。

表 2-1-1 我が国自転車総輸入台数の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2019年10~12月 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 総輸入台数(台) | 1,440,671 | 1,843,084 | 1,424,070 | 1,601,144 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 総輸入台数(台) | 1,840,057 | 1,631,661 | 1,375,387 | 1,392,616 |

出典：財務省貿易統計(2019年数値は確定値 2020年数値は原稿執筆時点のもの)

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 以下、輸入統計数値は全て同様。

表 2-1-2 我が国自転車総輸入台数の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(台) | -399,386 | 211,423 | 48,683 | 208,528 |
| 前年同期比(%) | -21.7 | 13.0 | 3.5 | 15.0 |

尚、参考までこの間のドル円為替レートを別表 1 に示しておく。円高傾向にある事がわかる。

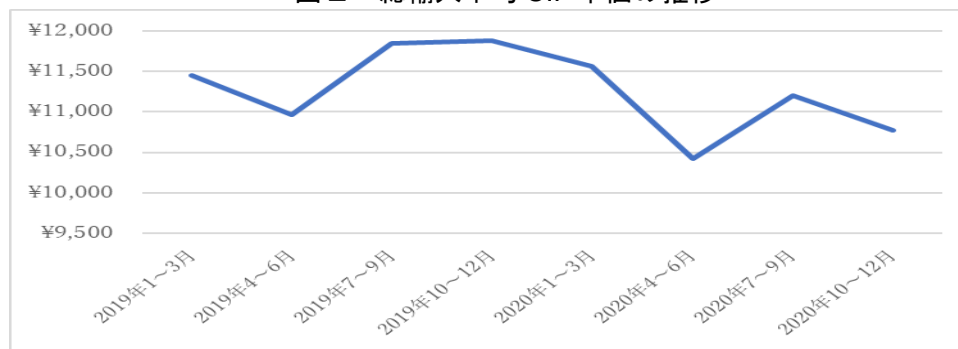
別表 1 ドル円為替レート (税関長公示レート)

| 四半期別 | 1US\$=JPY |
|--------------|-----------|
| 2019年 1～3月 | 110.11 |
| 2019年 4～6月 | 110.44 |
| 2019年 7～9月 | 107.31 |
| 2019年 10～12月 | 108.49 |
| 2020年 1～3月 | 108.91 |
| 2020年 4～6月 | 107.83 |
| 2020年 7～9月 | 106.46 |
| 2020年 10～12月 | 104.77 |

出典：公益財団法人日本関税協会 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている 2019 年 1～3 月期から 2020 年 10～12 月期までの 8 四半期の総輸入平均 CIF 単価の推移を図 E に示す。この期間内では前々四半期が底であるが、全体として穏やかな下落傾向にあるように見受けられる。

図 E 総輸入平均 CIF 単価の推移



続いて総輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2020 年 10～12 月期の完成自転車輸入平均 CIF 単価は 10,773 円となっており、前年同期の 11,880 円から 9.3% 下落した。前年同期比の総輸入平均 CIF 単価は 3 四半期連続で下落を示している。これらの模様を同じく過去 4 四半期にまでさかのぼり表 2-1-3 及び表 2-1-4 に示す。

表 2-1-3 我が国自転車総輸入平均 CIF 単価の動向

| 四半期 | 2020年 1～3月 | 2020年 4～6月 | 2020年 7～9月 | 2020年 10～12月 |
|--------------|------------|------------|------------|--------------|
| 平均 CIF 単価(円) | 11,562 | 10,425 | 11,207 | 10,773 |
| 前年同四半期 | 2019年 1～3月 | 2019年 4～6月 | 2019年 7～9月 | 2019年 10～12月 |
| 平均 CIF 単価(円) | 11,454 | 10,971 | 11,849 | 11,880 |

表 2-1-4 我が国自転車総輸入平均 CIF 単価の前年同期比

| 四半期 | 2020年 1～3月 | 2020年 4～6月 | 2020年 7～9月 | 2020年 10～12月 |
|--------|------------|------------|------------|--------------|
| 実数比(円) | 108 | -546 | -642 | -1,108 |
| 前年同期比% | 0.9 | -5.0 | -5.4 | -9.3 |

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。以下同様。

更に総輸入金額について見てみると、2020年10～12月期の完成自転車総輸入CIF金額は172億4,859万円となり前年同期比4.3%増加した。前年同期と比較した総輸入CIF金額は増加と減少が交互に繰り返されている。これらの模様を過去4四半期にまでさかのぼり表2-1-5及び表2-1-6に示す。

表2-1-5 我が国自転車総輸入CIF金額の動向

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2019年10～12月 |
|--------------|------------|------------|------------|-------------|
| 総輸入CIF金額(千円) | 16,657,242 | 19,214,207 | 15,959,363 | 17,248,590 |
| 前年同四半期 | 2019年1～3月 | 2019年4～6月 | 2019年7～9月 | 2019年10～12月 |
| 総輸入CIF金額(千円) | 21,075,532 | 17,900,594 | 16,296,763 | 16,544,779 |

表2-1-6 我が国自転車総輸入CIF金額の前年同期比

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|---------|------------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(千円) | -4,418,290 | 1,313,613 | -337,400 | 703,811 |
| 前年同期比% | -21.0 | 7.3 | -2.1 | 4.3 |

2-2 車種別輸入状況

我が国の輸入における関税番号及び車種については次の別表2の通り分類されている。電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、モーターサイクルの中に「駆動原動機として電動機を有するもの」が区分されており、電動アシスト車はこの中に含まれている。しかしこの区分には、電動オートバイも含まれているので注意が必要である。

別表2 輸入における車種区分 関税番号

| 関税番号／品名区分 | 車種 |
|------------------------------------|---|
| 8712.00100 マウンテンバイク | ・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク |
| 8712.00211 ミニサイクル | ・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX |
| 8712.00218 幼児車 | ・幼児車(12～16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12～16吋) |
| 8712.00219 子供車 | ・子供車(18～24吋) ・Jr.MTB(18～24吋) ・一輪車(18～24吋) |
| 8712.00291 軽快車 | ・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車 |
| 8712.00299 その他 | ・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋) |
| 8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル | ・電動オートバイ、電動アシスト自転車がこの区分の中に含まれる |

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

以下に車種別輸入状況を示していくが、車種区分が比較的多いため、この中から「ミニサイクル」、底堅い需要のある「子供車」、重要と思われる「軽快車」及び「その他」、動向が注目される「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」に限って内訳をみてゆく。

2-2-1 「ミニサイクル」の輸入状況

「ミニサイクル」の輸入状況を表2-2-1-1及び表2-2-1-2に示す。2020年10～12月期の輸入台数は67,493台となり前年同期比6.1%増加した。表2-2-1-2を横に見るとわかる通り、3四半期前の小幅な減少を除き、全体として増加傾向にあることがわかる。

表2-2-1-1 「ミニサイクル」の輸入台数の動向

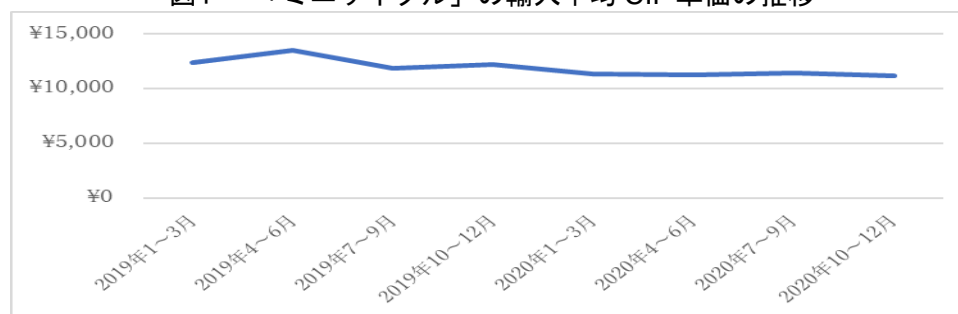
| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 輸入台数(台) | 68,702 | 95,373 | 87,573 | 67,493 |
| 前年同四半期 | 2019年1～3月 | 2019年4～6月 | 2019年7～9月 | 2019年10～12月 |
| 輸入台数(台) | 70,550 | 76,990 | 62,279 | 63,597 |

表2-2-1-2 「ミニサイクル」の輸入台数の前年同期比

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(台) | -1,848 | 18,383 | 25,294 | 3,896 |
| 前年同期比(%) | -2.6 | 23.9 | 40.6 | 6.1 |

次に「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価を見る。対象としている2019年1～3月期から2020年10～12月期までの8四半期の輸入平均CIF単価の推移を図Fに示す。全体的に比較的安定的に推移している事がわかる。

図F 「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価の推移



続いて「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2020年10～12月期の輸入平均CIF単価は11,188円となっており、前年同期の12,176円から8.1%下落した。前年同期と比較した平均CIF単価は4四半期連続して下落している。これらの模様を同じく過去4四半期にまでさかのぼり表2-2-1-3及び表2-2-1-4に示す。

表2-2-1-3 「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価の動向

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 平均CIF単価(円) | 11,335 | 11,237 | 11,437 | 11,188 |
| 前年同四半期 | 2019年1～3月 | 2019年4～6月 | 2019年7～9月 | 2019年10～12月 |
| 平均CIF単価(円) | 12,374 | 13,471 | 11,831 | 12,176 |

表2-2-1-4 「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価の前年同期比

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(円) | -1,040 | -2,234 | -394 | -988 |
| 前年同期比% | -8.4 | -16.6 | -3.3 | -8.1 |

更に輸入金額について見てみると、2020年10～12月期の「ミニサイクル」の輸入CIF金額は7億5,508万6千円となり前年同期比2.5%減少した。前四半期には35.9%と大きく増加したが、今四半期は減少している。

表2-2-1-5 「ミニサイクル」の輸入CIF金額の動向

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 輸入CIF金額(千円) | 778,713 | 1,071,721 | 1,001,542 | 755,086 |
| 前年同四半期 | 2019年1～3月 | 2019年4～6月 | 2019年7～9月 | 2019年10～12月 |
| 輸入CIF金額(千円) | 872,998 | 1,037,158 | 736,818 | 774,329 |

表2-2-1-6 「ミニサイクル」の輸入CIF金額の前年同期比

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(千円) | -94,285 | 34,563 | 264,724 | -19,243 |
| 前年同期比% | -10.8 | 3.3 | 35.9 | -2.5 |

2-2-2 「子供車」の輸入状況

「子供車」の輸入状況を以下に示す。2020年10～12月期には輸入台数は415,228台となった。3四半期前は前年同期比で大幅に減少したが、その後前年同期比で増加に転じ、その増加幅は次第に大きくなっていることがわかる。

表2-2-2-1 「子供車」の輸入台数の動向

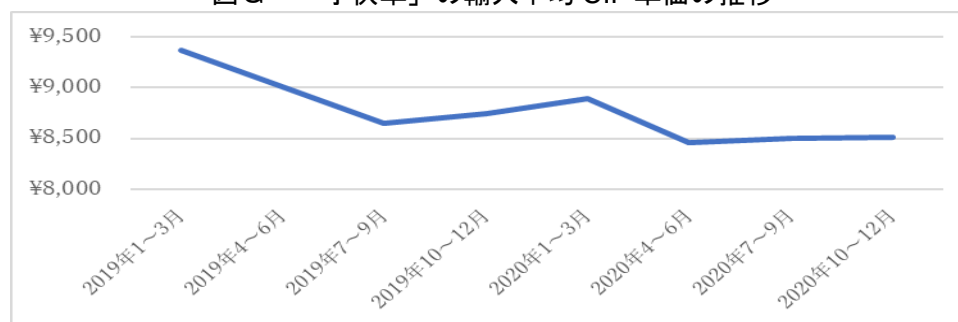
| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 輸入台数(台) | 248,815 | 489,434 | 405,065 | 415,228 |
| 前年同四半期 | 2019年1～3月 | 2019年4～6月 | 2019年7～9月 | 2019年10～12月 |
| 輸入台数(台) | 359,298 | 449,883 | 357,722 | 343,683 |

表2-2-2-2 「子供車」の輸入台数の前年同期比

| 四半期 | 2020年1～3月 | 2020年4～6月 | 2020年7～9月 | 2020年10～12月 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(台) | -110,483 | 39,551 | 47,343 | 71,545 |
| 前年同期比(%) | -30.7 | 8.8 | 13.2 | 20.8 |

次に「子供車」の輸入平均CIF単価を見る。対象としている2019年1～3月期から2020年10～12月期までの8四半期の輸入平均CIF単価の推移を図Gに示す。全体的に緩やかな下落傾向にあるように見受けられる。

図G 「子供車」の輸入平均CIF単価の推移



続いて輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2020年10～12月期の「子供車」の輸入平均CIF単価は8,514円となっており、前年同期の8,741円から2.6%下落した。平均単価は前年同期比で下落が続いている事がわかる。

表 2-2-2-3 「子供車」の輸入平均 CIF 単価の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|--------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 平均 CIF 単価(円) | 8,891 | 8,458 | 8,507 | 8,514 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 平均 CIF 単価(円) | 9,370 | 9,004 | 8,651 | 8,741 |

表 2-2-2-4 「子供車」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(円) | -479 | -546 | -144 | -226 |
| 前年同期比% | -5.1 | -6.1 | -1.7 | -2.6 |

更に輸入金額について見てみると、2020年10~12月期の「子供車」の輸入 CIF 金額は35億3,530万7千円となり前年同期比17.7%増加した。台数の場合と同様、金額も3四半期には前年同期比で大きく減少したが、その後増加に転じその増加幅は次第に大きくなっている。

表 2-2-2-5 「子供車」の輸入 CIF 金額の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 輸入 CIF 金額(千円) | 2,212,121 | 4,139,775 | 3,445,709 | 3,535,307 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 輸入 CIF 金額(千円) | 3,366,519 | 4,050,847 | 3,094,514 | 3,003,999 |

表 2-2-2-6 「子供車」の輸入 CIF 金額の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------|------------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(千円) | -1,154,398 | 88,928 | 351,195 | 531,308 |
| 前年同期比% | -34.3 | 2.2 | 11.3 | 17.7 |

2-2-3 「軽快車」の輸入状況

「軽快車」の輸入状況を以下に示す。2020年10~12月期には、364,167台の「軽快車」が輸入された。前年同期と比較すると今四半期は5.2%減少した事が示され、更に4四半期連続で減少したこともわかる。

表 2-2-3-1 「軽快車」の輸入台数の動向

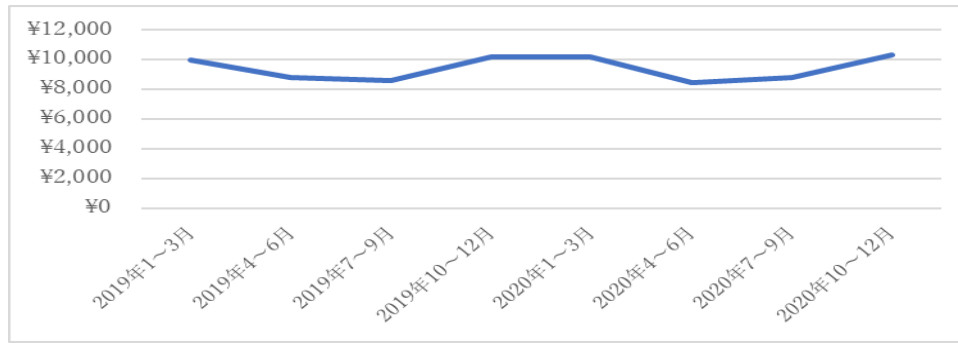
| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 輸入台数(台) | 458,020 | 372,429 | 252,574 | 364,167 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 輸入台数(台) | 573,283 | 373,720 | 339,589 | 384,076 |

表 2-2-3-2 「軽快車」の輸入台数の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(台) | -115,263 | -1,291 | -87,015 | -19,909 |
| 前年同期比(%) | -20.1 | -0.3 | -25.6 | -5.2 |

次に「軽快車」の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている2019年1~3月期から2020年10~12月期までの8四半期の輸入平均 CIF 単価の推移を図Hに示す。生産の場合と同様、季節性が表れており、秋から冬にかけて比較的高価なものを輸入し、春から夏にかけては比較的安価なものを輸入するという特徴がわかる。但し、前述のとおり変化の度合いは生産の場合より小さい。

図H 「軽快車」の輸入平均CIF単価の推移



続いて輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2020年10~12月期の「軽快車」の輸入平均CIF単価は10,304円となっており、前年同期の10,165円から1.4%上昇した。対前年同期との比較では、その変化は比較的小さい状況が続いている。

表2-2-3-3 「軽快車」の輸入平均CIF単価の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 平均CIF単価(円) | 10,149 | 8,444 | 8,777 | 10,304 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 平均CIF単価(円) | 9,947 | 8,793 | 8,566 | 10,165 |

表2-2-3-4 「軽快車」の輸入平均CIF単価の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(円) | 202 | -349 | 211 | 139 |
| 前年同期比% | 2.0 | -4.0 | 2.5 | 1.4 |

更に輸入金額について見てみると、2020年10~12月期の「軽快車」の輸入CIF金額は37億5,233万円であった。前年同期と比較すると3.9%減少し、更に4四半期連続で減少している事もわかる。

表2-2-3-5 「軽快車」の輸入CIF金額の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 輸入CIF金額(千円) | 4,648,458 | 3,144,807 | 2,216,871 | 3,752,330 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 輸入CIF金額(千円) | 5,702,659 | 3,286,185 | 2,909,085 | 3,903,952 |

表2-2-3-6 「軽快車」の輸入CIF金額の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------|------------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(千円) | -1,054,201 | -141,378 | -692,214 | -151,622 |
| 前年同期比% | -18.5 | -4.3 | -23.8 | -3.9 |

2-2-4 「その他」の輸入状況

スポーツ車や外装変速機付軽快車が含まれる「その他」の輸入状況を以下に示す。2020年10~12月期の輸入台数は522,659台であり、前年同期比12.9%増加した。前年同期と比較した輸入台数は増加と減少が交互に繰り返されている。

表 2-2-4-1 「その他」の輸入台数の動向

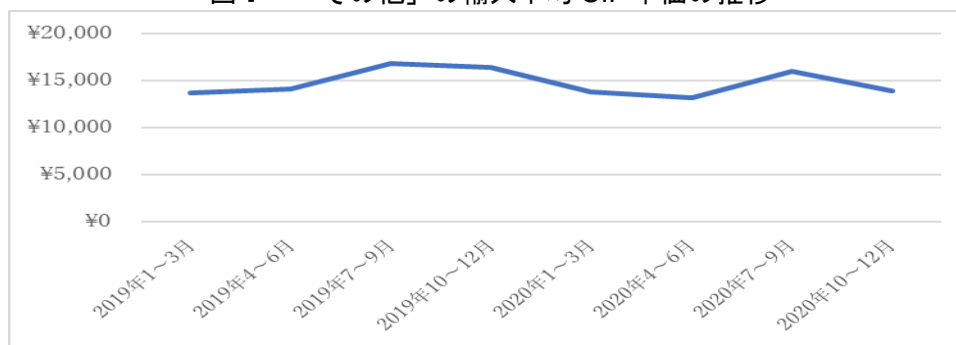
| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 輸入台数(台) | 571,308 | 687,571 | 478,504 | 522,659 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 輸入台数(台) | 710,604 | 562,632 | 482,381 | 462,746 |

表 2-2-4-2 「その他」の輸入台数の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(台) | -139,296 | 124,939 | -3,877 | 59,913 |
| 前年同期比(%) | -19.6 | 22.2 | -0.8 | 12.9 |

次に「その他」の自転車の輸入平均CIF単価を見る。対象としている2019年1~3月期から2020年10~12月期までの8四半期の輸入平均CIF単価の推移を図Iに示す。「軽快車」の場合とは若干異なり、7~9月期と10~12月期が比較的高く、1~3月期と4~6月期が比較的低いが、今四半期は10~12月期としては低めとなっている。

図 I 「その他」の輸入平均CIF単価の推移



続いて輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2020年10~12月期の「その他」の輸入平均CIF単価は13,934円となっており、前年同期の16,399円から15.0%下落した。輸入平均CIF単価は、3四半期には前年同期比でわずかに上昇したが、それ以降3四半期連続で下落が続いている。

表 2-2-4-3 「その他」の輸入平均CIF単価の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 平均CIF単価(円) | 13,779 | 13,159 | 15,954 | 13,934 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 平均CIF単価(円) | 13,702 | 14,090 | 16,831 | 16,399 |

表 2-2-4-4 「その他」の輸入平均CIF単価の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(円) | 77 | -931 | -877 | -2,465 |
| 前年同期比% | 0.6 | -6.6 | -5.2 | -15.0 |

更に輸入金額について見てみると、2020年10~12月期の「その他」の輸入CIF金額は72億8,255万4千円となり前年同期比4.0%減少した。前年同期と比較した輸入金額は前々四半期を除き下落が示されている。

表 2-2-4-5 「その他」の輸入 CIF 金額の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 輸入 CIF 金額(千円) | 7,872,311 | 9,047,994 | 7,633,918 | 7,282,554 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 輸入 CIF 金額(千円) | 9,736,863 | 7,927,487 | 8,118,954 | 7,588,415 |

表 2-2-4-6 「その他」の輸入 CIF 金額の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------|------------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(千円) | -1,864,552 | 1,120,507 | -485,036 | -305,861 |
| 前年同期比% | -19.1 | 14.1 | -6.0 | -4.0 |

2-2-5 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入状況

最後に参考まで「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入状況を示す。2020年10~12月期には、輸入台数が前年同期比19.3%増加したことが示されている。前年同期比の輸入台数は、3四半期前の僅かな減少を除き大幅な増加が続いている。

表 2-2-5-1 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入台数の動向

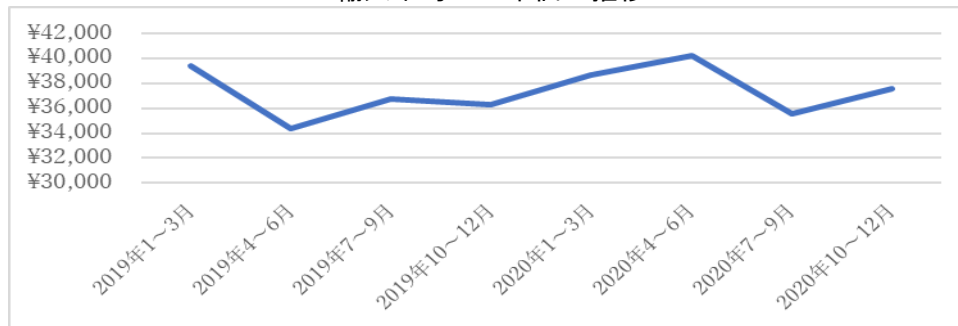
| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 輸入台数(台) | 83,172 | 143,870 | 125,204 | 140,222 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 輸入台数(台) | 83,382 | 84,074 | 98,639 | 117,500 |

表 2-2-5-2 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入台数の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(台) | -210 | 59,796 | 26,565 | 22,722 |
| 前年同期比(%) | -0.3 | 71.1 | 26.9 | 19.3 |

次に「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている2019年1~3月期から2020年10~12月期までの8四半期の輸入平均 CIF 単価の推移を図 J に示す。2019年4~6月期に大きく下落した後、回復傾向が示されていたところ前四半期は下落した後、今四半期は再び上昇に転じている。

図 J 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入平均 CIF 単価の推移



続いて輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2020年10~12月期の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入平均 CIF 単価は37,584円となっており、前年同期の36,280円から3.6%上昇した。前年同期比の輸入平均 CIF 単価は上昇と下落が交互に繰り返されている。

表 2-2-5-3 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入平均 CIF 単価の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|--------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 平均 CIF 単価(円) | 38,648 | 40,177 | 35,524 | 37,584 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 平均 CIF 単価(円) | 39,397 | 34,330 | 36,743 | 36,280 |

表 2-2-5-4 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入平均 CIF 単価の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(円) | -749 | 5,847 | -1,219 | 1,304 |
| 前年同期比% | -1.9 | 17.0 | -3.3 | 3.6 |

更に輸入金額について見てみると、2020年10~12月期の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入 CIF 金額は52億7,014万4千円となり、前年同期比23.6%増加した。前年同期と比較した輸入金額は台数の場合と同様、3四半期前の減少を除き大幅な増加が続いている。

表 2-2-5-5 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入 CIF 金額の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 輸入 CIF 金額(千円) | 3,214,434 | 5,780,319 | 4,447,792 | 5,270,144 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 輸入 CIF 金額(千円) | 3,284,995 | 2,886,270 | 3,624,289 | 4,262,945 |

表 2-2-5-6 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入 CIF 金額の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(千円) | -70,561 | 2,894,049 | 823,503 | 1,007,199 |
| 前年同期比% | -2.1 | 100.3 | 22.7 | 23.6 |

3. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。2020年10~12月の「国内向け数量」は1,841,518台となり、前年同期比11.9%増加した。前年同期と比較した「国内向け数量」は3四半期前には減少していたが、その後3四半期続けて増加を示している。

表 3-1 「国内向け数量」の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 国内向け数量(台) | 1,669,851 | 2,048,201 | 1,617,802 | 1,841,518 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 国内向け数量(台) | 2,096,168 | 1,827,038 | 1,554,705 | 1,645,888 |

出典：経済産業省生産動態統計調査(2019年数値は確定値 2020年数値は原稿執筆時点のもの)

財務省貿易統計(2019年数値は確定値 2020年数値は原稿執筆時点のもの)

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

(生産には「電動アシスト車」を含み、輸入には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

表 3-2 も同様

表3-2 「国内向け数量」の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(台) | -426,317 | 221,163 | 63,097 | 195,630 |
| 前年同期比(%) | -20.3 | 12.1 | 4.1 | 11.9 |

4. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。

2020年10~12月期の総輸出台数は713,044台となり前年同期と比べると17.7%減少した。これらの模様を過去4四半期にまでさかのぼり表4-1及び表4-2に示す。

表4-1 我が国自転車総輸出台数の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 総輸出台数(台) | 703,025 | 675,433 | 840,363 | 713,044 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 総輸出台数(台) | 729,774 | 808,971 | 704,895 | 866,289 |

出典：財務省貿易統計(2019年数値は確定値 2020年数値は原稿執筆時点のもの)

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

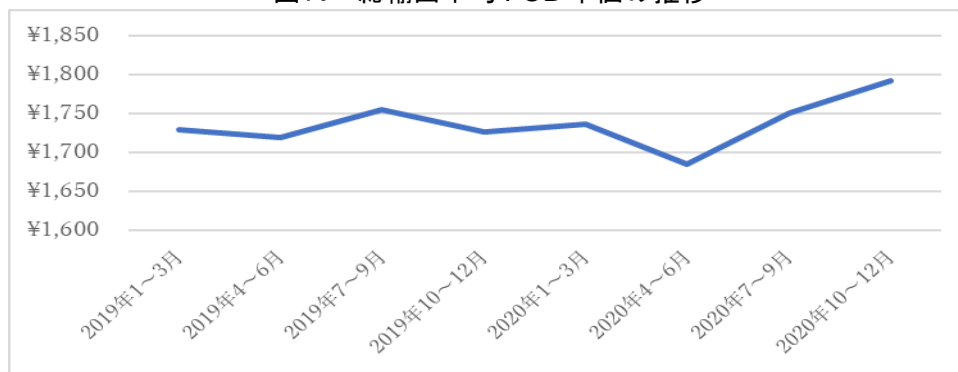
以下、輸出統計数値は全て同様。

表4-2 我が国自転車総輸出台数の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(台) | -26,749 | -133,538 | 135,468 | -153,245 |
| 前年同期比(%) | -3.7 | -16.5 | 19.2 | -17.7 |

次に全ての車種の輸出平均FOB単価の推移を見る。対象としている2019年1~3月期から2020年10~12月期までの8四半期の総輸出平均FOB単価の推移を図Kに示す。前々四半期に下落した後、上昇に転じ今四半期は対象8四半期の中で最高となっている。

図K 総輸出平均FOB単価の推移



2020年10~12月期の完成自転車総輸出平均FOB単価は1,792円となっており、前年同期の1,727円から3.8%上昇した。これらの模様を同じく過去4四半期にまでさかのぼり表4-3及び表4-4に示す。前年同期と比較した四半期毎総輸出平均FOB単価の変化は大きくはない。また、平均FOB単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。

表 4-3 我が国自転車総輸出平均 FOB 単価の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|--------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 平均 FOB 単価(円) | 1,737 | 1,685 | 1,750 | 1,792 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 平均 FOB 単価(円) | 1,729 | 1,720 | 1,755 | 1,727 |

表 4-4 我が国自転車総輸出平均 FOB 単価の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(円) | 8 | -36 | -5 | 65 |
| 前年同期比% | 0.5 | -2.1 | -0.3 | 3.8 |

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

更に総輸出金額について見てみると、2020年10~12月期の完成自転車総輸出 FOB 金額は12億7,792万5千円となり前年同期比比14.6%減少した。これらの模様をやはり過去4四半期にまでさかのぼり表4-5及び表4-6に示す。前年同期比の総輸出金額は前四半期には比較的大きく増加したものの今四半期は再び減少に転じている。

4-5 我が国自転車総輸出 FOB 金額の動向

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|----------------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 総輸出 FOB 金額(千円) | 1,221,476 | 1,137,891 | 1,470,719 | 1,277,925 |
| 前年同四半期 | 2019年1~3月 | 2019年4~6月 | 2019年7~9月 | 2019年10~12月 |
| 総輸出 FOB 金額(千円) | 1,262,032 | 1,391,595 | 1,236,890 | 1,496,455 |

表 4-6 我が国自転車総輸出 FOB 金額の前年同期比

| 四半期 | 2020年1~3月 | 2020年4~6月 | 2020年7~9月 | 2020年10~12月 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 実数比(千円) | -40,556 | -253,704 | 233,829 | -218,530 |
| 前年同期比% | -3.2 | -18.2 | 18.9 | -14.6 |

尚、輸出に関する分析では「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」は対象から除外している。

以 上